

国立登山研修所 ロッククライミング訓練施設・ スポーツクライミング用人工壁・ボルダリングウォール利用ルール

【3 施設共通事項】

- クライミングシューズ、ヘルメット、ハーネス、グローブ、チョーク等の個人装備はお持ちください。
- ロープ、ビレイデバイス等の共同装備はお持ちください。(※装備の貸出は行っていません。)
- アイゼンは使用禁止です。

【ロッククライミング訓練施設(屋外)・スポーツクライミング用人工壁共通事項】

- ヘルメット、ハーネスを着用し、ロープで必ず確保して利用してください。(※ボルダリングは禁止です。)
- 原則として、トップロープクライミングで利用してください。
- リードクライミングでの利用を希望する団体は、利用前に当研修所スタッフとご相談の上、許可を得てから利用してください。また、事前にリードクライミングの研修・登はん訓練を十分に行った上で、利用者5名につき指導者1名がついて利用してください。
- 終了点、ビレイポイントは、二つ以上の支点をとってください。(※ロッククライミング訓練施設最上段にある手すりも、同様に二つ以上の支点をとってください。)

【スポーツクライミング用人工壁・ボルダリングウォール(屋内体育館)共通事項】

■ 持ち物等

- クライミングシューズは、室内専用のものでお持ちください。(※屋外で使用したものは不可です。また、屋内体育館は土足禁止です。)
- チョークは「液体」のみ使用可能です。(※粉・ブロックは使用不可です。)
- ※ 利用後は、備え付けのブラシでチョークを落としてください。
- ※ マットは常設しています。利用後は必ず、もとあった場所に戻すなど原状復帰と清掃をお願いします。
- ※ ロープワーク、クライミングギアの使用法、クロスチェック等、利用規程に定める有資格者の監督・指導のもと、安全を最優先して利用してください。

■ 禁止事項等

- 裸足・靴下・スリッパでの利用は禁止です。クライミングシューズを必ず着用してください。
- 登る人以外は、マットに上がらないでください。
- 登っている人の落下点には、絶対に入らないでください。
- 危険が無い高さまでクライムダウンした上で、必ず足からゆっくりと着地してください。
- マットと壁の間には隙間がある場所がありますので、十分ご注意ください。
- マットの上には、チョーク、チョークブラシ、タオル等の物を置かないでください。
- ホールドは、ボルトによって壁に取り付けられており、その性質上、回転・崩壊・落下等を完全に防ぐことができません。また、ホールドがズレたり動いたりした場合は、すぐにクライミングを中断し、当研修所スタッフまで必ずお知らせください。
- ボルダリングウォールは、同じ色のテープで示された「級」のホールドのみを利用してください。
- 屋内体育館内での食事(軽食を含みます。)は禁止です。飲み物は、フタつきのペットボトル・水筒等のこぼれないものの持込が可能です。ただし、マット上での飲水は厳禁です。
- トイレ等で屋内体育館から出る場合には、スリッパへ履き替えてください。

【その他】

- 18歳未満の方の利用は、あらかじめ利用団体が、保護者の承諾を得てください。
- クライミングに適した服装で利用してください。フード付きの上着・スカート・裾が広がっているパンツ・ひも付きの服等を着用した利用は禁止です。
- 手足の爪は短く切り、長い髪は後ろでまとめて利用してください。
- 装飾品はすべて外し、ポケットの中身はすべて出して利用してください。
- 利用前・利用時の飲酒・危険薬物の服用は、固くお断りします。
- ロッカーはありませんので、貴重品は各自の責任で保管・管理してください。
- ※ 当研修所スタッフからのご注意・警告等に従わなかった場合は、ご利用を中止いただくことがあります。
- ※ 当研修所施設内外を問わず、ご利用に関連するケガ(通院、後遺症や死亡も含みます。)等の事故、紛失・盗難、トラブル等につきまして、当研修所では一切責任を負わず、利用団体の責任・管理でお願いします。

ご不明な点は、国立登山研修所スタッフにお知らせください。